

深・魅力通信

幼小中一貫の成果が見えた3日間

想定外のことが多く、十分な準備ができずに始まった令和2年度の4月でした。限られた時間の中で、中学校1年部を中心に様々な状況を想定した丁寧な前指導もありましたが、幼小中一貫校として取り組んできた成果を、随所に見ることができました。

<袋井中職員の感想>

入学式での呼名の返事がとても立派でした。集中力を保って式に参加することができていました。

出身小学校が違っていても、すぐに打ち解けていたのに驚きました。

全体で集まったときに、ともしっかり「聞く」ことができると感じました。

昨年度も感じましたが、「話を聞く」「静かをつくる」がよくできています。

今年は、廊下の過ごし方が落ち着いていると感じました。



小中一貫カリキュラムで示された、大切にしたいことやキーワードが、生徒にも染みこんでいます。幼小での指導の成果が、中学校で、生徒の姿として表れています。幼小中一貫の深まりが、袋井あやぐも学園の安定と発展には必要不可欠なことを改めて実感できました。

1人の100歩より100人の1歩